

2. ゼロ国債

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
新潟県	しなのがわすいけいしなのがわ 信濃川水系信濃川 下流河川災害復旧 等関連緊急事業	3,200百万円	しなのがわすいけいしなのがわ 信濃川水系信濃川下流において、上流部における支川の災害助成事業等の実施に合わせ、上下流バランスを確保しつつ再度災害の防止を図ることを目的に築堤等を実施しており、今回ゼロ国債を活用することにより積雪寒冷地において効率的な事業執行を図る。
北海道	るもい 留萌ダム建設事業	265百万円	るもい 留萌川の洪水防御、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を目的として、昭和59年に実施計画調査着手、平成元年に建設着手し、平成21年度完成予定。現在、堤体工事及び付替道路工事等を鋭意実施中。 積雪寒冷地域であり、付替道路工事等を早期に発注することによって、工事の進捗を図る。
山形県	とよまき 豊牧地区	175百万円	平成16年の度重なる豪雨等により、地すべり活動の活発化の恐れがあることから、6、7月の本格的な梅雨期までに早急に表面排水路等を整備し、地すべりブロックの安定を図る。
神奈川県	やまのうちひがしうりがや 山の内東瓜ヶ谷地区	32百万円	平成16年10月台風22号により発生した斜面崩壊箇所について緊急的に法面工等を施工し、事業効果の早期発現を図る。
広島県	おおたがわ 太田川	100百万円	平成17年に広島が被爆60周年を迎えるため、平和記念公園周辺のネットワーク施設であるアンダーパスの整備が必要であり、ゼロ国債の執行により早期完成を図る。
石川県	いしかわかいがん 石川海岸	400百万円	いしかわかいがんこまつこうく 石川海岸小松工区は海岸侵食が激しく、平成16年度より直轄編入し、事業を実施しているところ。 本年度の相次ぐ台風により砂浜の侵食が進んだ。当該箇所の背後には重要公共施設である北陸自動車道や人家があり、人工リーフによる早急な侵食対策が必要である。